

正 誤 表

『実力心電図―「読める」のその先へ―』につきまして、下記の誤りがございました。謹んでお詫びし、訂正させていただきます。

※正誤表の更新につきましては、<http://new.jhrs.or.jp/book/book-seigohyo/>をご確認くださいますようお願い申し上げます。

頁	箇所	誤	正
197	「着目すべき心電図所見」	心拍数：80/分、整 P波：消失し視認できない。Ⅱ・Ⅲ・aV _F 誘導の基線に鋸歯状の規則的な振れ(F波)が認められる(↑) F波：Ⅱ・Ⅲ・aV _F 誘導で上向きに尖鋭な波形を呈している(上向きF波)。心房拍数(F波の心拍数)は240/分 QRS波：正常(↑) T波：F波のため判読困難	心拍数：80/分、整 P波：消失し視認できない。Ⅱ・Ⅲ・aV _F 誘導の基線に鋸歯状の規則的な振れ(F波)が認められる(↑) F波：Ⅱ・Ⅲ・aV _F 誘導で上向きに尖鋭な波形を呈している(上向きF波)。心房拍数(F波の心拍数)は240/分 QRS波：正常(↑) T波：F波のため判読困難 <u>※注：例示した心電図はⅡ誘導が陰性に見えることから、通常型時計回転の典型ではない。まれに、このような心電図を呈する場合もあるため、注意を要する。なお、典型的な通常型時計回転の心房粗動は、上記の通りⅡ誘導で上向きF波を認める。</u>

(2022年1月25日 日本不整脈心電学会)